



# SMILE ASIA in Cambodia

Quality of Life and Happiness for Women and Children

## ～ 2019年度の活動レポート ～

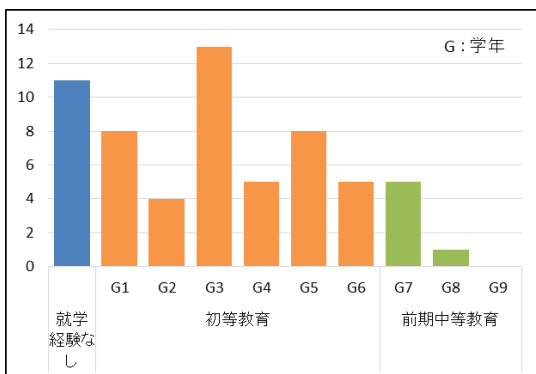
ACCUが現地カンボジアのNGOと連携して展開しているSMILEプロジェクト。2019年度も個人・法人の皆さまの温かいご支援のおかげをもちまして、無事事業を実施することができました。現地の様子を交えつつ、活動内容をご報告します。

### プロジェクトサイト

2019年度のSMILEプロジェクトは、首都プノンペンから65kmあまり離れたコンポンスプ州サムロントン郡タンクロッチ地区の4つの村で開講されました。この地区は、ポルボト政権時代に内紛の影響を強く受けた地域のひとつです。行政へのヒアリングや現地調査などをもとに、前年度に引き続き、特にニーズの高い同地区にて実施されることになりました。村には農業従事者のほか、最近では幹線道路沿いに次々と建つ外資系工場で働く人も増えています。また、隣国タイへ出稼ぎに行く若い世代も多いです。



### 学習者のみなさん



各村15名ずつ、計60名がSMILEで学びました。そのうち、11名は就学経験の全くない「非識字者」で、小学校中退または修了まで学んだ43名、中学校まで進んだ6名が生活に必要な読み書きが十分に出来ない「準識字者」です。

2019年度は、このうち4名が学齢期の女の子でした。親の出稼ぎに付き添ってほとんど就学経験がないまま移住を繰り返した子や、家事手伝いで早くに小学校を中退し、働きながらも読み書きを学びたいと希望する子などが、母親世代の女性たちとともにクラスに参加しました。

### 教材と学習キット

クラス開講時に参加者一人ひとりに学習キットが手渡されます。教科書、ノートやペンなどの文具、アルファベット表に加えて、保健衛生の実践学習のために石鹸やタオルも入っています。教科書は、母子保健をテーマに読み書き計算の知識を習得できるように構成されたSMILEオリジナルです。クラスで使う黒板やチョークは、州教育事務所からの寄附によるものです。行政もSMILEを支援してくれています。



## クラスの様子

例年、SMILE の識字クラスは8か月にわたり週2日間、一日当たり2時間で進みます。しかし、2019年度は開講が大幅に遅れたため、学習者のスケジュールに合わせて最大で週10時間が学習に充てられました。皆さん、農作業などの合間を縫って懸命に学習に励みました。

クラスでは、村長などから推薦を受けた地域の人材がファシリテーター（先生）として指導にあたります。同じ村の人なので学習者からの信頼も厚く、和気あいあいとした雰囲気です。ファシリテーターは、一方的に教えるだけでなく、学習者が自分で作った文章を皆の前で発表したり、ロールプレイングやグループディスカッションで教科書に出てくるトピックについて話し合ったり、理解を深める工夫を取り入れて知識の定着を図っています。

また、2019年度も保健センターと連携して、専門家による講義や実践学習の時間を月一回設けました。これまで保健センターの活動に興味を示さなかった村の人々が、SMILEでの学習を通じて保健衛生の重要性に気が付き、生活習慣にも様々な改善が見られるようになりました。SMILE受講者には保健センターで診療を受ける際の交通費補助や診療費免除などの特典もあり、学習者とその家族が必要な時に躊躇することなく医療サービスを受けることにつながりました。



## 旧学習者へのインタビュー

2019年度は、過去にSMILEに参加した方へのインタビュー調査も実施しました。2012年度と2016年度の学習者の中から計6名の自宅を訪問し、習得技術の活用度合いや生活環境の変化についてヒアリングしました。商店経営などのビジネスを始めたり、自分の子どもに高等教育の機会を与えたり、SMILE参加を契機にご本人や家族の生活が向上したことがうかがえる事例が多くあり、事業の成果を実感することができました。



## 学習の成果

SMILEでは3回の中間テスト結果と最終テスト、出席率を利用して、修了時の学習評価を行っています。今年は60名の学習者中54名が「合格」と判断されました。希望者にはカンボジア教育省の発行する認定証が授与され、成績に応じて小学校3年生から初等教育修了と同等の識字能力を習得したことが認められます。



また、残念ながら読み書き計算のテストでは合格を得られなかった学習者も含め、ほぼすべての学習者に生活習慣の改善が見られました。これまで、タンクロット地区では自宅での出産が普通でしたが、出産時の様々なリスクについて学んだ2名の妊婦さんは、衛生環境の整った保健センターでの出産を選び、また出生登録と健康カードへの記録、予防接種のサービスを受けました。

### 【学習者に見られた変化】

- 雨水をそのまま飲料水とせず、沸騰させて使用するようになった
- 排泄後や食前に手洗いを徹底するようになった
- 子供が体調を崩したときに保健センターへ連れて行くようになった
- 医師の処方箋に基づき薬を購入するようになった
- 産間調節を取り入れるようになった
- 収入向上のため、小規模ビジネスや家庭菜園、家畜の飼育などを始めた

## 現場のみなさんの声

私は今、村の学校支援委員会のメンバーです。学校を途中で辞めてからずいぶん時が経ち、文字をすべて忘れてしまっていたため、委員会に参加するたびに困難を感じていました。会議の議題を読むことすらできず、話し合いの内容についてメモを取りたくてもできませんでした。自分の村で SMILE が開講されると聞いたときは、とても嬉しかったです。クラスに参加し始めてから、読み書きの学び直しができることはもちろん、私にとっては特に、母親同士で村のできごとについて情報交換ができたことも、大変良い機会になりました。

ポイ・ヒエンさん 53 歳 （学習者、7 児の母）



私の家は貧しかったため、小学校を中退してタイへ出稼ぎに行き、商店の売り子として働いていました。でも、足し算などの簡単な計算や読み書きもできないことから、店で働くのが難しくなり、村に帰ることになりました。その後結婚して、今は 5 歳の娘を育てています。SMILE には読み書き計算と母子保健の知識を習得したくて参加しました。クメール語の読み書きだけでなく、母子の健康管理について学べることは、私たちにとってとても重要なことだと思います。クラスでは、野菜の栽培や家畜の飼育、小売の仕事など、収入向上に役立つ知識や技術も得ることができました。ご寄付いただいた皆様に心より感謝申し上げます。

イム・ソバルさん 31 歳 （学習者、1 児の母）

SMILE が村で開講されることになったとき、私はタイから帰国したばかりでした。小学 3 年生のときに学校を辞めて 8 歳で移住し、お母さんが働いている間、家で幼い妹たちの面倒を見ていました。でも、タイでの生活はとても厳しく、結局カンボジアに戻っておばあちゃんと暮らすことになりました。もう一度学校に通うために、他のお母さんたちと一緒に SMILE に参加することにしました。村長さんやおばあちゃん、地区の女性局の方が励ましてくれて、一生懸命勉強しました。今、私は読み書き計算が得意になり、村長さんが公立小学校の 3 年生に復学できるようにしてくれました。SMILE で学んだおかげで、お母さんが仕送りしてくれたお金を家計簿につけて管理できるようにもなりました。私の村で SMILE を開いてくれて、とても幸せです。本当にありがとうございました。

ヴァン・ソクナさん 13 歳 （学習者、未婚）



また、地域の方を代表して、SMILE を実施した 4 つの村の一つから、村長さんにもメッセージを頂きましたのでご紹介します。

SMILE が開講されたことは、参加した女性たちはもちろん、村の住民たちにとってとても大変意義深いことでした。女性たちが読み書き計算や母子保健の知識を身につけたことはもとより、その家族の行動にも良い変化をもたらしました。家族同士互いに尊重し合うようになり、家庭内暴力の減少につながりました。また、家庭での健康管理や衛生的な生活に対する意識が向上しました。このような機会をいただき、支援してくださっている日本の皆さんに心より感謝申し上げます。

タンクロッチ地区サムレス村 村長より

### 読み書きの力で女性に笑顔を！

カンボジアの SMILE プロジェクトは個人と企業の皆さまからの寄付によって支えられています。アジア太平洋の女性を応援するためのご支援をお願いします。

郵便振替口座： 00120-7-365298

口座名義： ACCU アジアの女性識字振興募金

※ACCU は公益財団法人ですので、寄付金控除の対象となります。

